

# 河北师范大学

## 2020 年硕士研究生招生考试试题

学科专业名称	日语语言文学		
科目代码	818	科目名称	日语综合

\*考生必须将答案写在答题纸上，试题纸上答题无效。

### 語学の問題

一、文の \_\_\_\_\_ に適当な言葉を書き入れなさい。

(本题共 10 分，每小题 1 分)

1. 西洋の言語形態学では、世界の言語を ①、②、③、抱合語に分類している。これによれば、中国語と日本語は、それぞれ ①、② の部類に入る。
2. 日本語の語彙を出自から分類すれば、大きく ④・⑤・⑥、及びそれらが混ざった ⑦ に分けられる。このように、出自によって分けた言葉の種類を「語種」という。
3. 郷に入っては郷に ⑧ という諺がある。
4. 日本語には同じ読みで意味の違う言葉が多い。例えば、「はやい」は「早い」と「速い」に書き分けられる。それと似ているが、「はかる」は使われる意味によって「⑨」、「⑩」、「測る」などと、いくつかの漢字で書き分けられる。

二、次の各組の言葉の中には、性質の違うものが一つずつ含まれている。

その言葉を選びなさい。(本题共 10 分，每小题 2 分)

1. 嬉しい      元気だ      読む      教室
2. 決まり      微笑      回り道      速さ
3. と      ばかり      だ      から
4. です      ようだ      らしい      けれども
5. しかし      そして      または      いいえ

### 三、次の質問に答えなさい。(本题共 20 分, 每小题 5 分)

1. 現代日本語の形式体言とは何か、例をあげて説明しなさい。
2. 例をあげて、現代日本語の謙譲語について説明しなさい。
3. 例をあげて、活用による助動詞の分類について説明しなさい。
4. 「警察が自転車に乗って逃げる泥棒を追いかけた」という文は、二通りに解釈することができ、意味的には曖昧な文です。
  - ① 二つの意味を簡潔に説明しなさい。
  - ② 曖昧さが生じる原因を分析しなさい。
  - ③ 曖昧さを避けるため、どのように修正すべきかを述べなさい。

### 四、次の文の \_\_\_\_\_ の言葉と同じ使い方・意味をしているものを A～D から一つ選びなさい。(本题共 10 分, 每小题 2 分)

1. ちょっと待った。
  - A. 昨日はいい天気だった。
  - B. あの眼鏡をかけた人は田中さんだ。
  - C. 退いた！退いた！
  - D. あった！あった！
2. 人類の歴史はある意味から言えば、不可能を可能にする過程の連続である。
  - A. 学校は 8 時からです。
  - B. ここから海が見えます。
  - C. うちの経済状態からして、そんな高いものはとても買えません。
  - D. 日本酒は米から作ります。
3. 鳥のように空を飛ぶことは人類の長年来の宿願であった。
  - A. いつものように今日も 7 時に会社へ行った。
  - B. 列車に間に合うように早く家を出た。
  - C. 転ばないように気をつけて歩いてください。
  - D. 彼は日本人のように上手に日本語が話せる。

4. テレビでも見ながら、香織さんを待ちましょう。

A. 私は好き嫌いがなく、何でも食べる。

B. お茶でもいかがですか。

C. 父は歯医者です。でも、虫歯があります。

D. ホテルでも両替できます。

5. みんな人間らしい生活をしたい。

A. 大雪で電車が止まっているらしい。

B. 今度の試験はとても難しいらしい。

C. 明日からここで工事が始まるらしい。

D. 彼ほど日本人らしい日本人はいない。

### 社会・文化の問題

一、文の \_\_\_\_\_ に適当な言葉を書き入れなさい。

(本题共 10 分，每小题 1 分)

1. 日本で人々は稲の栽培を始めたのは \_\_\_\_\_ 時代である。

2. 福沢諭吉の『 \_\_\_\_\_ 』の「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らず」というフレーズを知らない人はいないと思います。

3. 力士が相撲をする場所で土を盛って少し高くなっているところを \_\_\_\_\_ と呼ばれている。

4. 日本三大祭りの一つに数えられる \_\_\_\_\_ は、7 月から 8 月にかけて行われて、京都の祭りである。

5. 富士山は日本一の高い山で、 \_\_\_\_\_ 県と静岡県に跨っている。

6. 師走は、 \_\_\_\_\_ 月の別名である。

7. 徳川家康は \_\_\_\_\_ 教の禁止令を出した。

8. 戦後、昭和天皇は自ら \_\_\_\_\_ 宣言を発表した。現在の日本では、天皇は日本国の象徴となった。

9. \_\_\_\_\_ 雇用制とは、会社が労働者を入社から定年まで雇い続ける、日本特有の雇用慣行です。

10. 日本では 2019 年 10 月 1 日から \_\_\_\_\_ 税が 8% から 10% に引き上げられた。

二、次の各文の答えとして、A、B、C、D から一つ選びなさい。

(本题共 10 分，每小题 2 分)

1. ひな祭りに何をしますか。  
A. ちらしずしを食べる                      B. 五月人形を飾る  
C. 鯉幟をたてる                              D. 粽を食べる
2. 19 世紀半ばころ日本開国のきっかけは何ですか。  
A. 応仁の乱              B. 黒船事件    C. 百姓一揆              D. 関が原の戦い
3. お正月についての正しい項目はどれですか。  
A. 精進料理を食べる                      B. 本膳料理を食べる  
C. 懷石料理を食べる                      D. おせち料理を食べる
4. 初夢で見ると縁起が良いとされるものは次のどれですか。  
A. 一石二鳥                                      B. 一姫二太郎  
C. 一事が万事                                      D. 一富士二鷹三茄子
5. 2019 年 4 月 9 日、政府は 2024 年度上期をメドに紙幣を刷新することを発表した。  
新紙幣 1 万円の肖像画は次のどれですか。  
A. 夏目漱石      B. 渋沢栄一    C. 野口英世    D. 北里柴三郎

三、次のことがらについて紹介しなさい。(本题共 30 分，每小题 10 分)

1. 東京五輪
2. 令和
3. 国風文化

### 日本文学の問題

一、以下の文章は有名な作品の一節である。その文章はどの作品から選ばれたものか。作品名及び作家名を答えなさい。(本题共 15 分，每小题 3 分)

1. 冬はつとめて。雪の降りたるは、言ふべきにもあらず。霜のいと白きも、またさらでも、いと寒きに、火など急ぎおこして、炭持てわたるも、いときづきし。昼になりて、ぬるくゆるびもていけば、火桶の火も、白き灰がちになりて、わろし。

2. 行く川のながれは絶えずして、しかも本の水にあらず。よどみに浮ぶうたかたは、かつ消えかつ結びて久しくとゞまることなし。

3. 「この絵は刺青と一緒に前にお前にやるから、其れを持つてもう帰るがいい」かう言つて清吉は巻物を女の前に差し置いた。

「親方、私はもう今迄のやうな臆病な心を、さらりとすててしまひました。一お前さんは真先に私の肥料になつたんだねえ」と、女は剣のやうな瞳を輝かした。

4. 桜もちるに歎き、月のかぎりありて入佐山。ここに但馬の国かねほる里の辺に、浮世の事を外になして、色道ふたつに寐ても覚めても夢介とかえ名よばれて、名古屋・三左加賀の八などゝ、七ツ紋のひしにくみして、身は酒にひたし、一条通り夜更けて戻り橋。

5. かくありし時すぎて、世の中にいとものはかなく、とにもかくにもつかで、世にふるひとありけり。

二、以下の作品のジャンル（作品の種類）名を答えなさい。（本题共 10 分，每小题 2 分）

1. 昔丹後国に、浦島といふもの侍りしに、その子に浦島太郎と申して、齡二十四五の男有りけり。明け暮れ海のうろくづをとりて、父母を養ひけるが、ある日のつれづれに、釣をせんとて出でにけり。

2. 糸瓜咲て痰のつまりし仏か

3. 去矣三千里 送君暮寒生 空中悬大岳 海末起长澜 僻地交游少 狡儿教化难 清明期再会 莫后晚花残

4. 花の色はうつりにけりないたづらにわが身世にふるながめせしまに

5. 須磨には、いとど心づくしの秋風に、海はすこし遠けれど、行平の中納言の、「関吹き越ゆる」と言ひけむ浦波、夜々は、げにいと近く聞こえて、またなくあわれなるものは、かかる所の秋なりけり。

三、次の言葉を解釈しなさい。(本题共 15 分, 每小题 3 分)

- |           |          |       |
|-----------|----------|-------|
| 1. 新体詩    | 2. 太宰治   | 3. 連歌 |
| 4. 『平家物語』 | 5. 小林多喜二 |       |

四、次の文章を読んで、( ) の中にそれぞれ適当なものを入れなさい。

(本题共 10 分, 每小题 2 分)

1. 計りがたい太古の時代から奈良時代の終わりまでを、日本文学史では ( ) という。
2. 中古では、宮廷や貴族の間ではもっぱら漢詩文がもてはやされて、和歌など日本固有の文学が衰退して、唐風全盛の時代に入った。これを「( )」と呼ばれる。
3. 『徒然草』、『枕草子』、『( )』が日本三大随筆と呼ばれる。
4. 宋や明で展開した朱子学や陽明学は後世の学者の解釈にすぎないと疑問視し、直接儒教の原典を研究する ( ) が現れた。山鹿素行がその先駆けをなす。
5. 志賀直哉の 1910 年の作品に『( )』という小説がある。そこで志賀は「自分」という一人称の人物を登場させている。